shindaiwa®

取扱説明書

レインボーミスト

WM-1002

⚠ 注意
安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

は じ め に

この度はエコーレインボーミストをお買い上げいただきありがとうございます。

- このエコーレインボーミストを下記に書かれている目的以外に使用しないでください。

  使用目的：水道水の噴霧による降温及び防塵、イベント等の演出、視覚効果。

- この取扱い説明書には組立や操作、整備に必要な事項が書かれていますので、正しく効果的な製品の取扱いができるよう、よく読んで理解してください。

- 使用後は毎日必ずタンクの水を水抜き方法に従い排出してください。

⚠ 注　意

- この取扱い説明書は、いつでも読めるように、紛失汚損の恐れのない、すぐに取り出せる所に必ず保管してください。
- この説明書が損傷により読めなくなった場合、紛失した場合は、販売店より新しく取扱い説明書を購入し、常に参照できるよう保管してください。
- この取扱い説明書で解説している機械を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱い説明書を読ませ、充分な指示、訓練を行った後、この取扱い説明書とともに機械を貸与してください。
- 製品を譲渡される場合は、この取扱い説明書を製品に添付してお渡しください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、販売店にご相談ください。

警告表示ラベルについて

- この取扱い説明書で解説されている機械は、下表の「警告表示ラベル」が貼付してあります。ご使用前に「警告表示マークの位置」で確認し、ラベルの意味を理解してください。

- 万一、ラベルが摩滅したり破損して読めなくなった場合や、はがれて紛失した場合は販売店より、新しくラベルを購入し、「警告表示ラベルの位置」に指示してある箇所に貼り、常にマークが読める状態を維持してください。

⚠ 危険	アース線の結線無しで本機を使用すると重大な事故が発生する恐れがあります。 保守・点検の際は必ず電源を「停止」にして，かつプラグを抜いてください。 電子機器を濡れた手でさわらないでください。感電する恐れがあります。
⚠ 警告	カバーをはずして運転しないでください。ケガをする恐れがあります。 本機の積み降ろし時はタンクの水を抜いてください。
⚠ 注意	取扱説明書をよく読んで，正しく作業してください。 本機に直接噴射しないでください。短絡および漏電を引き起こす恐れがあります。 使用後は，ホース、タンク、ストレーナの水を抜いてください。 ホースの損傷や，折れ曲がったホース，継手金具の悪いものは，新品と交換してください。

もくじ

はじめに	・・・・・・・・・・・・	1
もくじ	・・・・・・・・・・・・	2
各部の名称	・・・・・・・・・・・・	3
警告表示ラベルの表示位置	・・・・・・・・・・・・	4
コントロールパネル操作方法、要領	・・・・・・・・・・・・	5～6
作業前の準備	・・・・・・・・・・・・	7
万一の事故に備えて	・・・・・・・・・・・・	8
長期保管について	・・・・・・・・・・・・	9
点検、整備、仕様	・・・・・・・・・・・・	10

- 本書に記載されている仕様や解説あるいは説明のために例にあげられている図や内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 説明書の内容は製品の標準装備を基本に構成していますが、特別注文品（オプション）やアクセサリーを使用する場合も含まれます。
- 単位はＳ１単位を使用しています。（ ）内は参考値ですので数%の換算誤差がある場合もあります。

危険・警告

- 正しい作業のための「警告・注意」を注意深くよく読んで理解すること。
- 正確で正しい操作のために、この取扱い説明書を必ず読むこと。

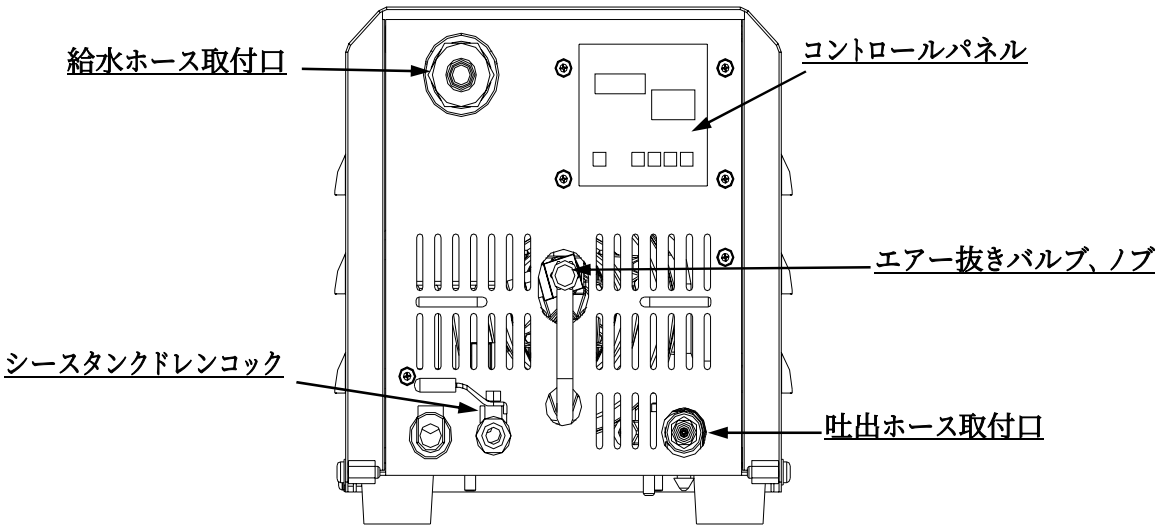
危険・警告 と言う言葉とともに使われる

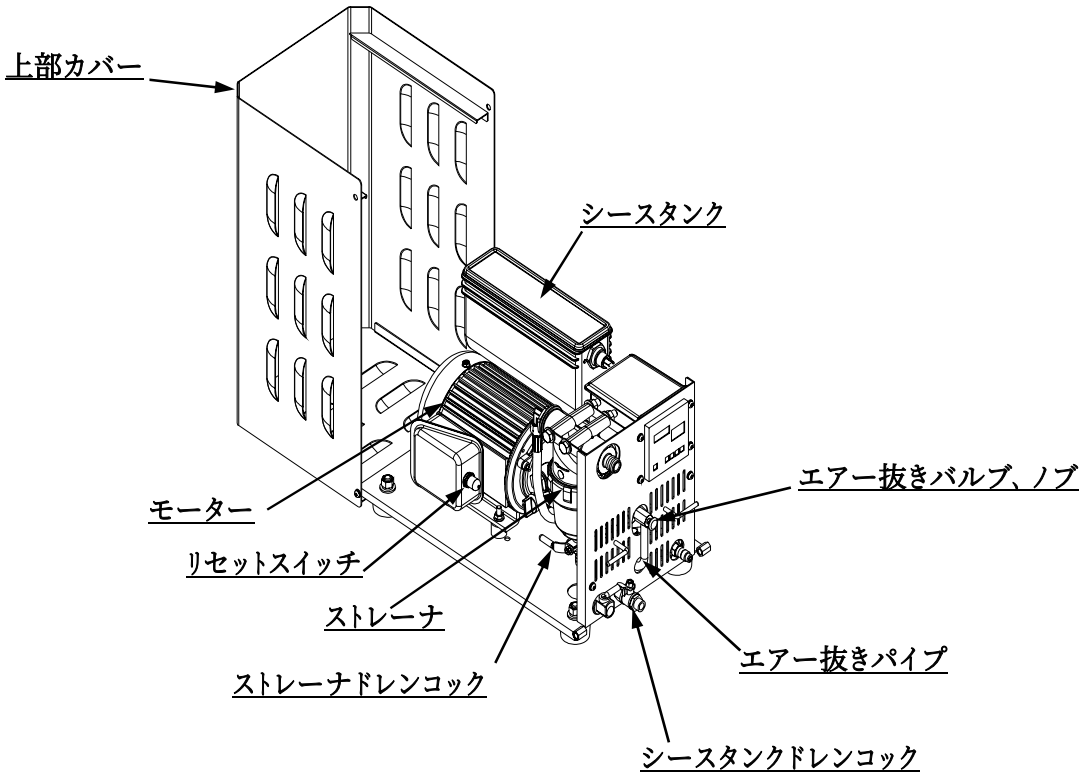
この記号は、回復できない身体の損傷を伴うケガや死に至る危険が起こる可能性のある操作や状態を強調する場合に使われます。

注意

この取扱い説明書で「注意」と言う言葉は、避けられなかった場合、軽いケガや切りキズが起こる可能性がある状態を強調する場合に使われます。

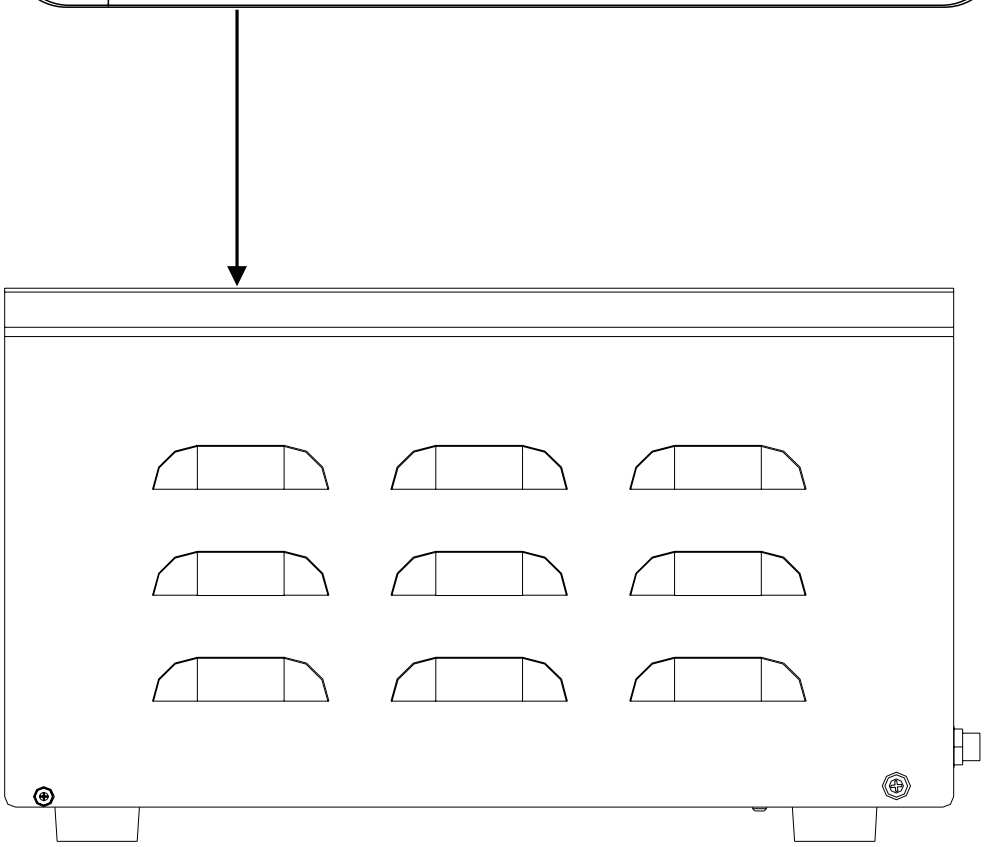
各部の名称


給水ホース取付口
コントロールパネル
エアー抜きバルブ、ノブ
シースタンクドレンコック
吐出ホース取付口

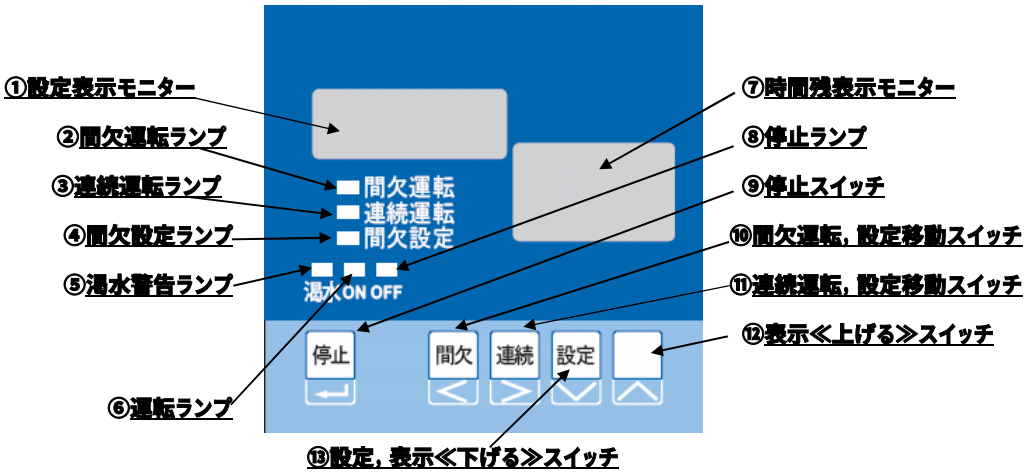

上部カバー
シースタンク
モーター
エアー抜きバルブ、ノブ
リセットスイッチ
ストレーナ
エアー抜きパイプ
ストレーナドレンコック
シースタンクドレンコック

警告表示ラベルの表示位置

⚠ 危険	アース線の結線無しで本機を使用すると重大な事故が発生する恐れがあります。 保守･点検の際は必ず電源を「停止」にして，かつプラグを抜いてください。 電子機器を濡れた手でさわらないでください。感電する恐れがあります。
⚠ 警告	カバーをはずして運転しないでください。ケガをする恐れがあります。 本機の積み降ろし時はタンクの水を抜いてください。
⚠ 注意	取扱説明書をよく読んで，正しく作業してください。 本機に直接噴射しないでください。短絡および漏電を引き起こす恐れがあります。 使用後は，ホース、タンク、ストレーナの水を抜いてください。 ホースの損傷や，折れ曲がったホース，継手金具の悪いものは，新品と交換してください。



コントロールパネル操作方法



設定　　：⑬設定スイッチを5秒間押し続けてください。間欠運転の設定ができます。
初期設定は噴霧40秒，停止15秒になっております。

間欠運転　：⑩間欠運転スイッチを5秒間押し続けてください。間欠運転ができます。

連続運転　：⑪連続運転スイッチを5秒間押し続けてください。連続運転ができます。

停止スイッチ：⑨停止スイッチを押すと，運転停止，設定の決定ができます。

※間欠運転の設定時間

噴霧時間：　5秒～99分59秒まで

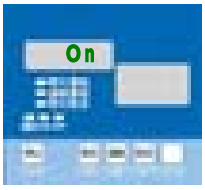
停止時間：　15秒～99分59秒まで

●ポンプの機能上再起動してから内部圧力が上昇するまで約5秒間は、ミストが噴霧されません。
その時間を考慮して噴霧時間の設定をしてください。
※ご使用前に必ず取扱説明書を読んで正しい操作および設定をしてください。

※水抜き方法(使用後は必ず水抜きを行ってください。)

1、シースタンクの水抜きを行う。
2、⑤渇水警告ランプが点灯したのを確認した後、電源プラグをコンセントより抜いてください。
3、もう一度電源プラグをコンセントへ差し込みます。
4、再度⑤渇水警告ランプが点灯します。
5、エアー抜きノブを押したまま、⑪連続運転，設定移動スイッチを約5秒間押し続けます。
6、エアー抜きパイプより約15秒間水が出た後自動的に停止します。
※もし渇水警告ランプが点灯しても作動しない場合は、2から再度やり直してください。
7、水抜き完了です。

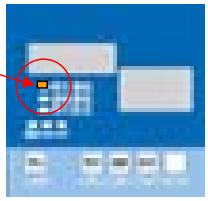
ミスト装置　コントロールパネル操作要領



● まず はじめに電源プラグをＡＣ１００Ｖに接続してください。
操作パネル左上に「On」の表示が点灯（右画像）。

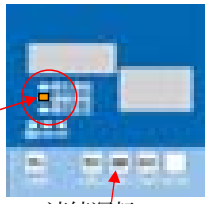
運転操作

＜自動間欠運転を行う場合＞
① 操作パネル　間欠 [<] を4～5秒押してください。
＊初期設定は４０秒噴射→１５秒停止→４０秒噴射の繰り返し設定。



② 停止する場合は、パネル左の「停止」 [↵] を押すと停止します。

＜連続運転を行う場合＞
① 操作パネル　連続 [>] を4～5秒押してください。
＊連続運転を続けます。

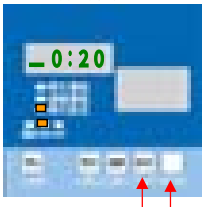


② 停止する場合は、パネル左の「停止」 [↵] を押すと停止します。

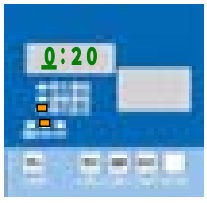
＊間欠時間の設定を変更する場合は、次の「自動間欠運転の設定」を参照してください。

自動間欠運転の設定

＜噴射時間設定＞



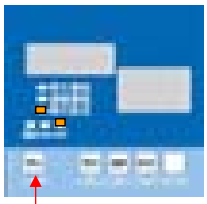
① 十の位が点滅します。
設定は [▽] [△]
で行います。



設定最大時間
99:59

設定最低時間
0:05
これ以下の設定は
出来ません。

②操作パネル　連続 [>] を押します。
一の位が点滅します。
以下、時間設定と同じ
要領で設定します。

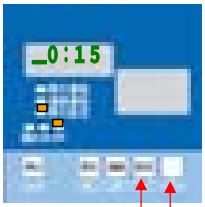


＊設定が完了したら
「停止」 [↵] を押します
「ＯＦＦ」の部分が点滅し、

次の自動運転の停止時間の
設定モードに変わります。

初期設定は噴射４０秒、停止１５秒の設定になっています。
＊設定を変更しない場合は、　停止 [↵] を押して次へ進みます。

＜停止時間設定＞



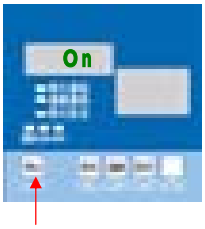
① 十の位が点滅します。
設定は [▽] [△]
で行います。



設定最大時間
99:59

設定最低時間
0:15
これ以下の設定は
出来ません。

②操作パネル　連続 [>] を押します。
一の位が点滅します。
以下、噴射時間設定と同じ
要領で設定します。



＊設定が完了したら
「停止」 [↵] を押します

作業前の準備

ホースを取付ける

●水道水、又は低圧ポンプを使う場合

１．給水ホースの端を吸水口に取付けてください。
反対側を水道の蛇口、又は低圧ポンプに取付けてください。
各接続口はしっかりと取付けてください。

２．高圧ホースは本機吐出口に確実に接続してください。

電源プラグの接続

●電源プラグを単相１００Ｖのコンセントに接続してください。

⚠ 注 意

規定の電源（単相１００Ｖ）以外は使用しないで
ください。火災、感電、故障の恐れがあります。

⚠ 危険

アースの結線なしで、本機を使用すると重大な
事故が発生する可能性があります。
アースの結線なしでは使用しないでください。
アースは必ず第三種接地規定に従ってとって
ください。

重要

電源コードの延長はしないで下さい。
やむ終えず延長する場合は必要容量（A）
の十分満たされるものをご使用ください。

重　要

５分以上のカラ運転をしないでください。

重　要

凍結による不具合などは、メーカの責任外と
なりますので、ご注意ください。

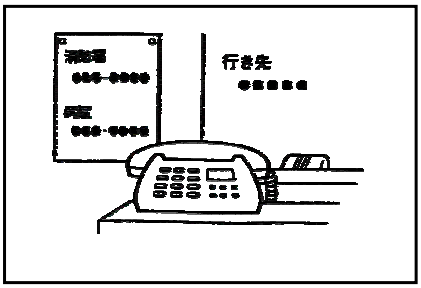
運転

1　本機への送水を開始して渇水警告ランプが消てから《間欠スイッチ》《連続スイッチ》どちらかを
　約5秒間押し続けてください。
2　エアー抜きノブを押し給水ホース内のエアーを抜いてください。
3　透明なホースから空気の吐出が無くなり水が連続して出たことを確認してから
　ノブから手を離してください。ノズルから噴霧がはじまります。

停止

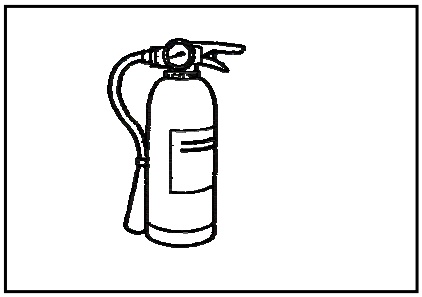
1　コントロールパネルの停止スイッチを押してください。
2　本機への送水を停止して下さい。
　ドレンコックを開け水道水の圧力を抜いてからホースを外してください。
　作業を終了する場合はタンクの水を水抜き方法に従い排出し、
　各ホースを外して電源プラグを抜いてください。（P5参照）

万一の事故に備えて



●作業前に

- 万一の事故に備え、電話機のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。
  特に消防署への連絡の場合、救急車のために目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておくと、的確な連絡に役立ちます。
- 単独で作業する場合、どこで作業を行なっているかが他の人にもわかるような方法（黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。負傷して動けなくなり帰れない場合の対処として有効です。
- 作業現場には、呼子（笛）を持っていってください。

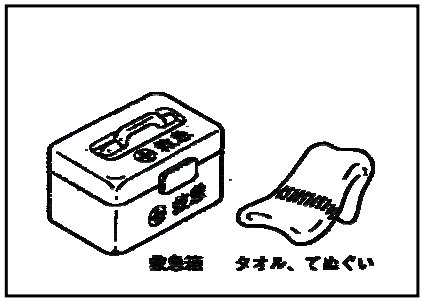


●発火に対する備え

⚠危　険

作業中、万一、本機や電源コードから発火発煙したら、機械から離れ、まず、自分の身体の安全を確保してください。

- 自分の身体を、火災その他の障害から守るように注意してください。
  類焼しないように注意してください。
  シャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。



●ケガへの備え

- 万一のケガへの備えとして、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。
  出血をともなうケガについては、止血用に汗拭き用のタオルや、てぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業現場へ携帯することをおすすめします。

●点検･整備は、充分な広さがあり、安定した場所で行なってください。
●タバコ、その他の火気は厳禁です。

長期保管について

● この　　を長期ご使用しない場合には、必ずタンク内を清掃し
水抜き方法に従いポンプより水抜きを行ってから保管してください。
（使用後タンク内に水を入れたまま放置すると雑菌が繁殖する恐れがあります。）

● 長期保管後（新品、未使用除く）は、タンク内を清掃してから消毒を行ってご使用ください。

タンク内消毒要領

1 タンク内の水抜きをする。

2 タンク内に消毒液（消毒液の作り方を参照）を入れ3分間ミスト装置を運転しノズルより噴霧してください。

3 ミスト装置を停止します。

4 タンク内の消毒液をストレーナ付きドレンコックより抜き、消毒液が残らないように
タンク内を水道水で清掃してください。

5 再度タンクに水を入れミスト装置を運転しノズルより3分間噴霧してください。

6 使用後は水抜き方法に従って水抜きを行ってください。（P5参照）

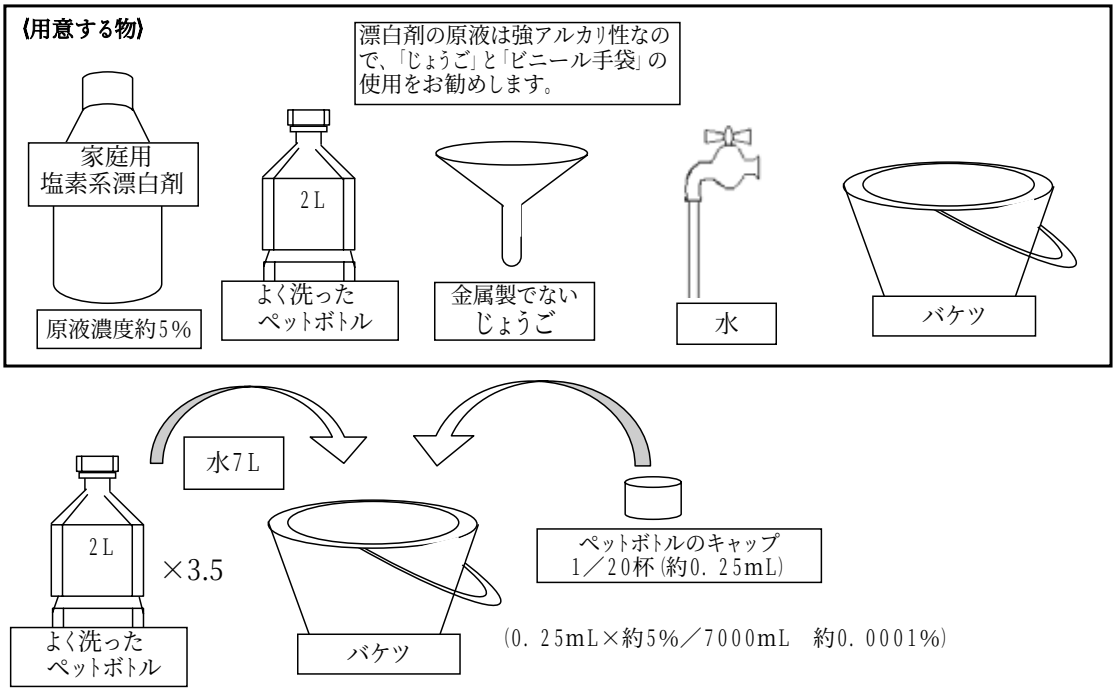
消毒液の種類

※ 次亜塩素酸ナトリウム⇒市販の「**家庭用塩素系漂白剤**」

塩素消毒（次亜塩素酸ナトリウム）を行う場合の希釈倍率

用　　途	実行有効塩素	希釈倍率	希釈例
水（飲料水、プール、排水）	0.8ppm～1.0ppm	約140,000倍	1mL／140L水

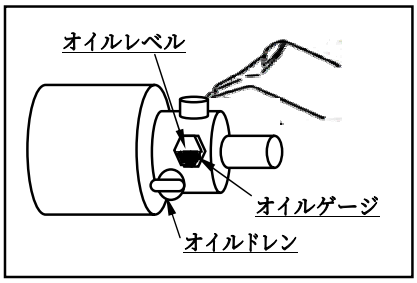
消毒液の作り方



点検･整備･仕様

部　品　名	整　備　内　容	整　　備　　時　　期
ポンプ	オイル交換	初回は50時間使用後、以降100時間ごと/1年に1度
ストレーナ	清掃	毎回使用後
ポンプ	油量確認	毎回使用前
ノズルストレーナ	交換	約100時間ごと又は月1度

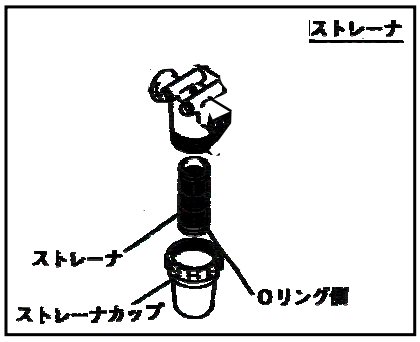
●この表の時期にしたがって、整備･点検を行なってください。ただし、実際の使用条件や使用回数により必要と判断した場合は整備･点検の回数を増やしてください。



ポンプのオイル交換

(最初は50時間使用後、その後は100時間使用後
または1年に1回行なってください。)

**SE級以上のSAE10W－30エンジンオイルを
65cc使用してください。**



ストレーナ

●ストレーナの汚れを点検し、ゴミや異物の詰まりの除去。

重　要

冬期間、水が凍結する恐れのある地域では
必ず水抜きを行なってください。

凍結による不具合などは、メーカーの責任外
となりますので、ご注意ください。

仕様

型式	電圧	消費電力	周波数	本体重量	回転数
WM－1002	100V	200W	50／60Hz	16kg	1420／1720 r/min

吐出圧力	寸法(L×W×H)単位㎜	最大吐出水量
6.5MPa	450×266×271	0,9／1,0L／min

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6181

●やまびこ産業機械株式会社
〒731-3167　広島県広島市安佐南区大塚西6-2-11　　Tel 082-849-2005（代）

・東北支店
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東5-1-50　　Tel 022-390-5001（代）

・札幌営業所
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東1-2-20　Tel 011-891-3116（代）

・関東支店
〒198-0025　東京都青梅市末広町1-7-2　　Tel 0428-32-6777（代）

・首都圏営業所
〒134-0083　東京都江戸川区中葛西6-1-7　　Tel 03-3687-5771（代）

・中部支店
〒454-0826　愛知県名古屋市中川区小本本町1-75　　Tel 052-362-2281（代）

・関西支店
〒556-0022　大阪府大阪市浪速区桜川4-11-20　　Tel 06-6561-8484（代）

・中四国支店
〒731-3167　広島県広島市安佐南区大塚西6-2-11　　Tel 082-849-2400（代）

・九州支店
〒812-0006　福岡県福岡市博多区上牟田3-5-22　　Tel 092-411-9801（代）

・鹿児島営業所
〒890-0073　鹿児島県鹿児島市宇宿2-23-18　　Tel 099-257-6801（代）

●やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

●やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

●やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

●やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前1-39　　Tel 052-502-4111（代）

●やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

●やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

© 2015　株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。